



市立総合病院

一般病棟を50床増床、
診療部門の拡張など

第三次増改築整備事業

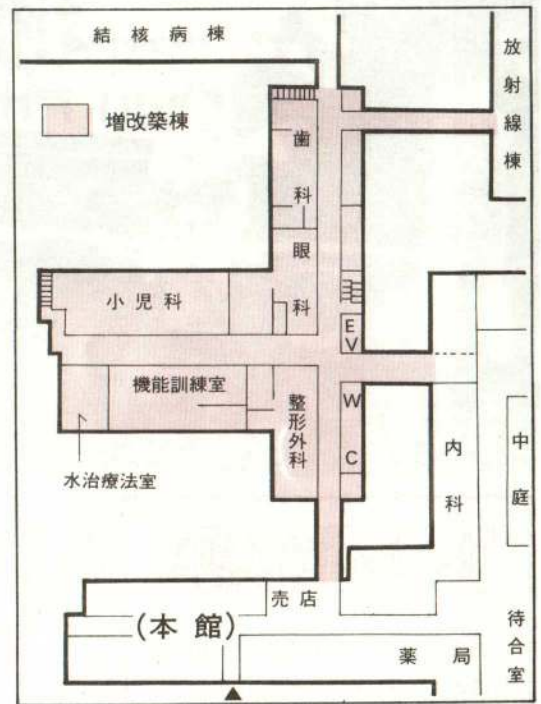
市立総合病院では、医療設備の充実と、年々増加する外来患者や入院する患者に対応するため施設の整備を進めていますが、五十八、五十九年度の二カ年で第三次増改築整備事業を行うことになりました。同事業は、建物が老朽化した人工透析室・伝染病棟や旧中央給食棟などを解体し、その跡地に増改築棟を建設するもので、一般病棟の増床や人工透析室、一部の外来診療科などが移設され、来年九月には完成の予定です。

58・59年度

一カ年継続事業で

市立総合病院は、昭和四十五年、施設の近代化と立体化を図るため、現在の本館が完成しました。その後、五十四年度には放射線棟の増築工事、五十五、五十六年度では神経精神棟の全面改築を行って医療施設の充実を図ってきました。

第三次増改築整備事業は、五十八、五十九年度の二カ年継続して建物の老朽化著しい人工透析室・機能訓練室、伝染病棟や旧中央給食棟、旧コバルト治療室などを解体し、その跡地に増改築棟を建設するものです。増改築棟は、総工費十二億四千八百二十万円、鉄筋コンクリート造り四階建て（一部



塔屋二階建て）、延べ面積六千二百二十平方メートルです。

結核・伝染病棟は縮小

増改築棟には、人工透析室や機能訓練室を初め、外来患者が増加している小児科、眼科などの診療科を移設するほか、一般病棟も五十床増床になり三百七十五床になります。なお、結核患者や急性伝染病患者は減少傾向にあるため、実情に合わせて結核・伝染病棟を縮小します。また、この増改築により一部診療科が新しい建物に移るため、本館部分に従来の余裕がでてくることとなります。

増改築棟は、一階が解剖室、霊安室、電気・機械室など。二階には小児科、眼科、歯科、整形外科機能訓練室、水治療法室。三階は泌尿器科、人工透析室、コンピュータール室、会議室など。四階は一般病室、結核・伝染病室が設けら

れます。

工事業者は次のとおりです。

▽建物工事

伊藤・丸山建設共同企業体 六億八千四百万円

▽機械設備工事

異工業・大館桂工業建設共同企業体 三億二千七百万円

▽電気設備工事

東北電気・奥羽電気建設共同企業体 二億三百二十万

▽昇降機設備工事

日立製作所 三千四百万円

今月の相談日

ところ・市役所会議室
 じかん・午前9時～午後4時
 交通事故 11月22日、12月13日
 法律 11月18日
 社会保険 11月21日
 家庭教育 11月21、28日、12月5日
 国 税 11月25日

市長の対話ノート



No. 79

ありがとうございます

市民あげてのご協力で、第一〇六回秋田県種苗交換会を盛会裡に終えさせていただきました。

好天に恵まれ、トラブルもなく、五十六万人の方々にご心よく参観いただきましたことは、関係者はじめ全市民を挙げての、歓迎の真心の賜ものであり、心から厚くお礼申し上げます。

「大館らしさ」を求めた交換会をと無理な注文もしましたが、子供コーナー、案山子フェスティバル、農業者と消費者の交流、全国伝統工芸品展、郷土産業展等々見事に消化し、成功させていただきました。成せば成るを証明していただきました。

この交換会は、市の多くの農業者に技術と体験を通じて勇気と自信、そして意欲を与えてくれました。そして一般市民には農業や産業を正しく知っていただく機会を与えてくれました。協賛者からすれば、催しに対する多くの勉強をさせていただきました。

この尊い体験を生かし、来年の全国高校総体受け入れに、そして成功へのハズミが出来たような気がします。今後の大規模な催しものを引受けられる見通しにも自信がもてたような気がいたします。

この成功のエネルギーを、不況克服の源にすべく、共に懸命に頑張りたいと存じます。

伊藤 健治郎